

## 28 最新のコーヒー事情 / 川島 啓晃 会員



1953年創業、今年で58年目となります。1989年、30歳の時に親父より「社長になれ」と言われ、現在まで23年間社長をしております。次男なのになぜ継いだんだ？とよく言われます。兄は18歳から”サルバドル”という中南米の国に行きました。親からは「好きに生きろ」と言われていたのですが、20歳の時に急に「継がない」ということになり、急に両親が優しくなりました。一応3年間東京の”ミカドコーヒー”に修行に行き、「使い物にならないければ帰ってくるな」と言われ、新宿でホストNo1になろうかと考えましたが、悩んだ末、コーヒー屋の家業を継ぐことを選びました。

26歳の時(静岡に帰ってきたのは24歳)鷹匠町に輸入食品とコーヒー豆の挽き売り店を出しました。当時、輸入菓子・輸入食品を取り扱っている店がなかなかなかったので、オープンして半月、これは儲かると思い、立て続けにもう1店オープンしましたが失敗し、それから用心深くなりました。現在は静岡市内8店舗出していますが、そのうち5店舗は社員を独立させ、ボランティアチェーンという形態をとっています。

その他の事業内容として、全国のスーパー(約1,500店舗)の卸、プライダル・仏事・シティホテルの卸があります。

震災の前まではコーヒーが高くなったというニュースが流れていました。コーヒーの値段は相場と為替によって決まります。この1年間で150-160セントだった豆が、300セントまで高騰してしまいました。「1-生産国の問題」「2-新興国の問題」「3-ファンドの問題」があります。生産量の32%を占めるのがブラジルで、今年は裏作という事で生産量が15%落ちました。また中国、インド、ロシア、ブラジル等の国がコーヒーを飲むようになりました。そこに目を付けたファンドがどんどん値上げしたという事です。今植えたものが3年後に実になり、安くなると思われま

## 29 イギリスについて / 海野 英之 会員



ジャガーというイギリスの車を扱っております。

4月29日ロイヤルウエディングがあり、世界中から注目されました。イギリス発祥のスポーツが多くあります。サッカー・ゴルフ・ラグビー・クリケット・テニス等がありますが、やはりサッカーが一番人気があります。どうしてイギリス発祥のスポーツが多いのか調べてみました。真偽のほどはわかりませんが、一つ面白い説がありました。

19世紀のパブリックスクール(イングランドおよびウェールズにおける私立の中等教育学校)が影響している説があります。産業人を創り出す場所という定義があったようです。また、大英帝国の中核を担うという教育を受けていました。劣悪な生活環境、過酷な気象条件の植民地に派遣される、管理者としての養成学校でもあったようです。どんな条件にも耐えうる強靱な身体と、精神力を学校で学びました。フットボールは育成に有効なツールとして採用されました。しかし、いじめや暴力的な怪我などが多くあり、改革を迫られていました。ラグビー校の校長であった”トマス・アーノルド”が在任期間中に、あらゆる改革を進め、軍隊としての鍛えるというツールにルールを持たせ、近代的なスポーツ・競技というものに変えていきました。

イギリス人は日本人と気質が似ていると言われます。イギリス人とフランス人がよく対比されますが、船が沈む時にフランス人は「沈んでしまう、どうしよう」と暴れ出す、イギリス人は無言のまま応急処置を施すと言われ、イギリス人は感情よりも現実処理能力が高く、逆境に強いようです。

### 委員会報告

- 柳瀬副会長  
次年度事業計画書(案)作成のお願い

### 出席報告..... 針谷委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確定 出席率
前々回	4/18	44名	28名	9名	—	(5名)	83.0%
前回	4/25	44名	34名	6名	—	(1名)	88.0%
本日	5/9	44名	30名	11名	73.0%	(名)	—